



AIガバナンスの結節点： 令和8年「第12回 AI知財検討会」の深層

ソフトウェアの限界、産業界の相克、そしてハードローへのシフト



脱・機械学習パラダイス

- 著作権法30条の4の限界点到達。
「フリーライド」モデルの終焉。



産業界の分断

- エンタメ・メディア（生存の危機）vs
テック企業（営業秘密と競争力の死守）。

The Tipping Point



ソフトローの進化

- 法的デッドロックをハックする「誓約」による
リーガル・エンジニアリングの登場。



突然のハードロー化

- 自民党による罰則要求（2026.04.23同日）。
協調路線の根底からの覆り。

技術の指数関数的進化が、
ついに社会実装の許容限界を超えた日



機械学習パラダイス
(著作権法30条の4によるフリーライド)


権利者の深刻な経済的打撃

AI事業者への透明性要求の限界点

これまで日本はAI開発者に極めて有利な
権利制限規定（情報解析目的の無断利用）
を維持。

しかし、理念的議論は終わり、具体的な
「コード（規範）」による実務的運用プロ
セスへ強制的へ移行。

	直面する危機	コードへのスタンス	裏側にある本音（推論）
出版・報道	代替リスクと トラフィック奪	透明性とオプトアウト の義務化	robots.txtは無力
音楽・映像	エコシステム崩壊と 声の模倣	投資回収を守る 厳格なルール	国家戦略の崩壊
IT・AI開発	イノベーション阻害 と競争力喪失	過度な規制への 強い懸念	学習プロセスの開示は 営業秘密の致命的漏洩

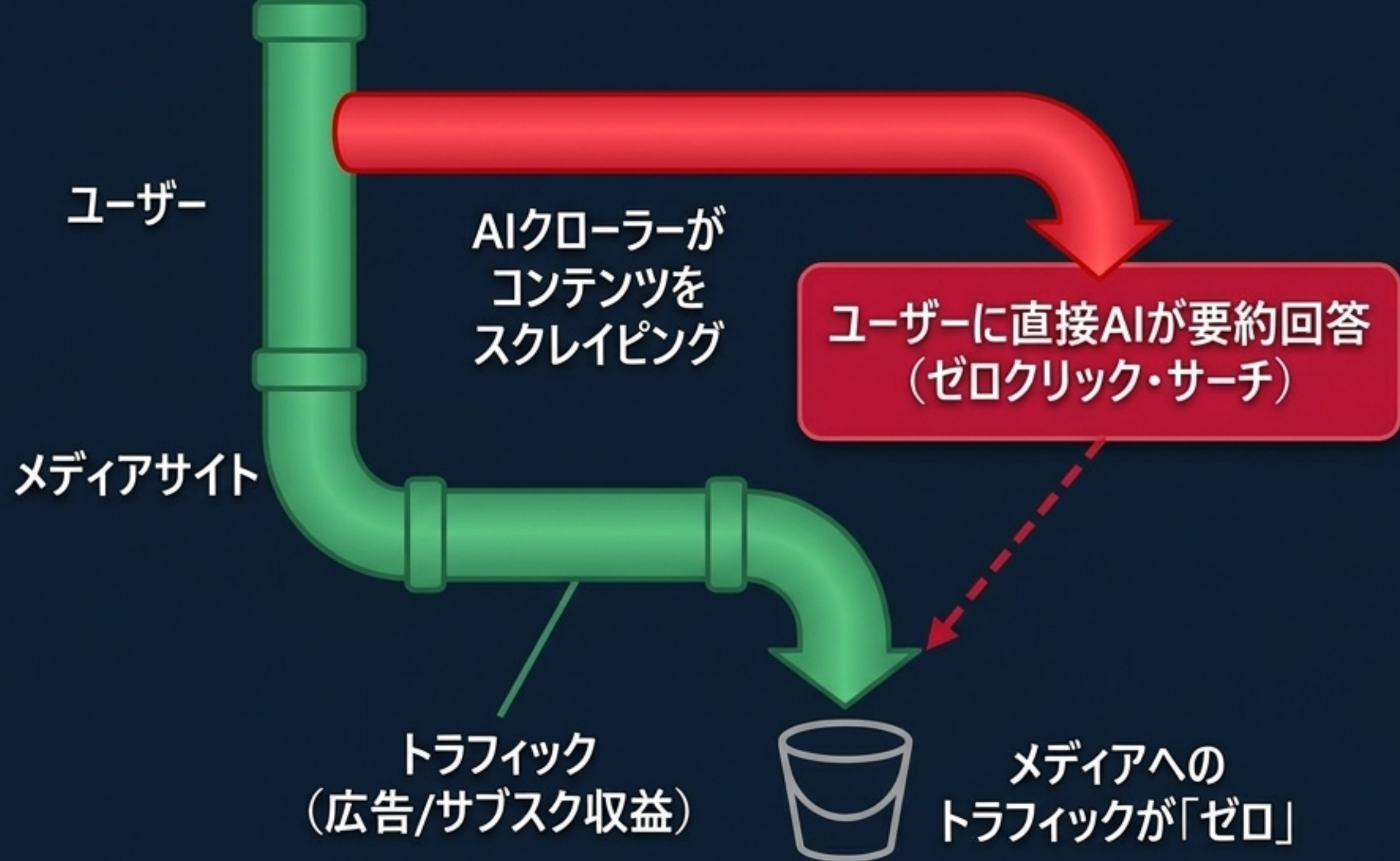

【非公開資料】 営業秘密とイノベーション阻害の恐怖から、IT業界は防衛的な孤立状態に

海外売上高の成長軌道（推計）



AIフリーライドによる瓦解の恐怖

特定の声や歌唱スタイルを模倣するAIの蔓延は、この20兆円を稼ぎ出すための基盤となるIP（知的財産）を希釈化し、国家のソフトパワー戦略を根底から破壊する。



既存対策の無力さ

robots.txt

悪意ある海外事業者には無視される。個別対抗コストは非現実的。

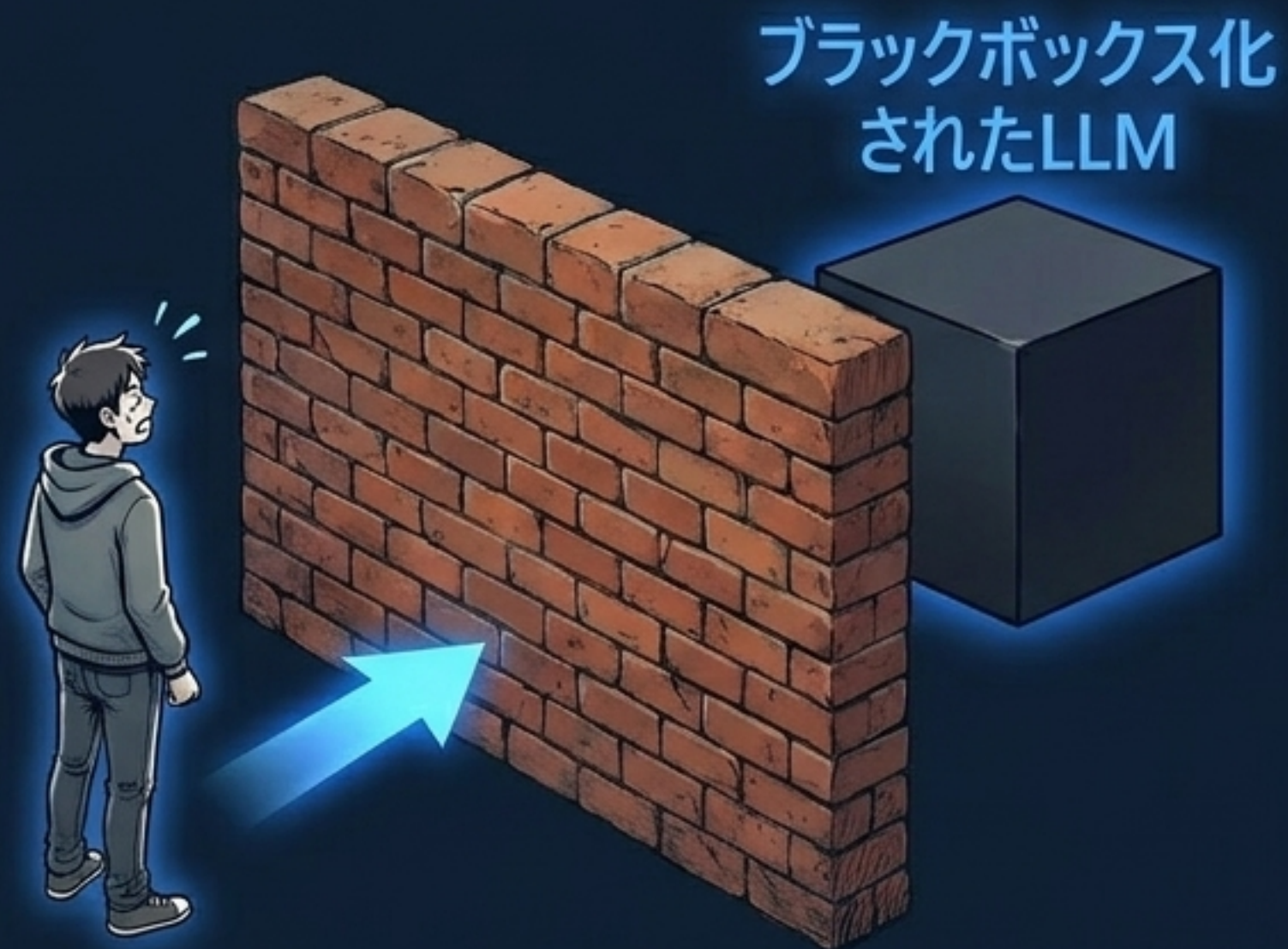
既存対策の無力さ

アンラーニング

事後的な機械非学習は技術的に未成熟で救済困難。

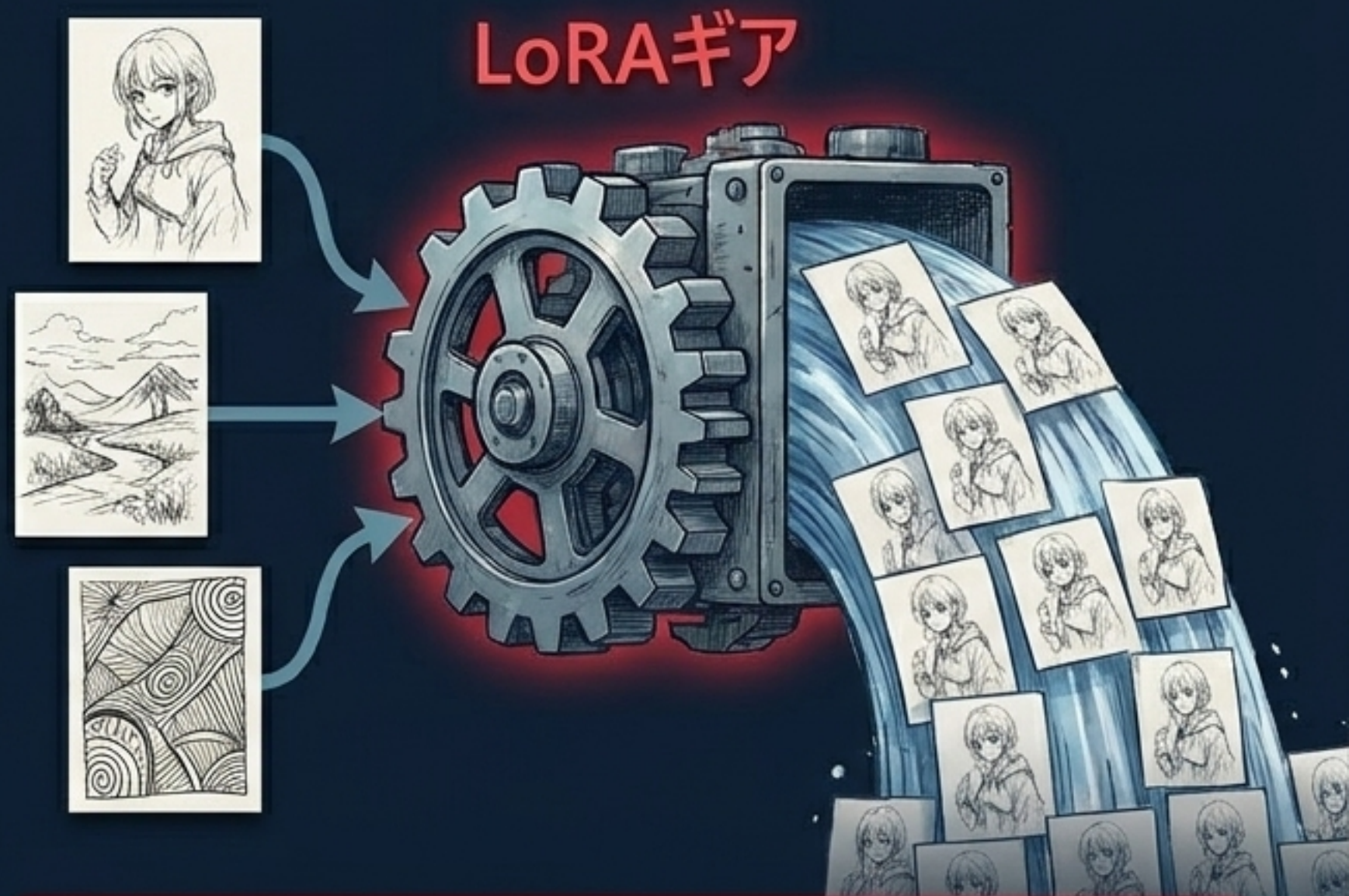
だからこそ、「学習除外プロセスの完全開示」という、AI開発工程の根本に対する強力な外部監査的要請へと向かっている。

「依拠性」の壁

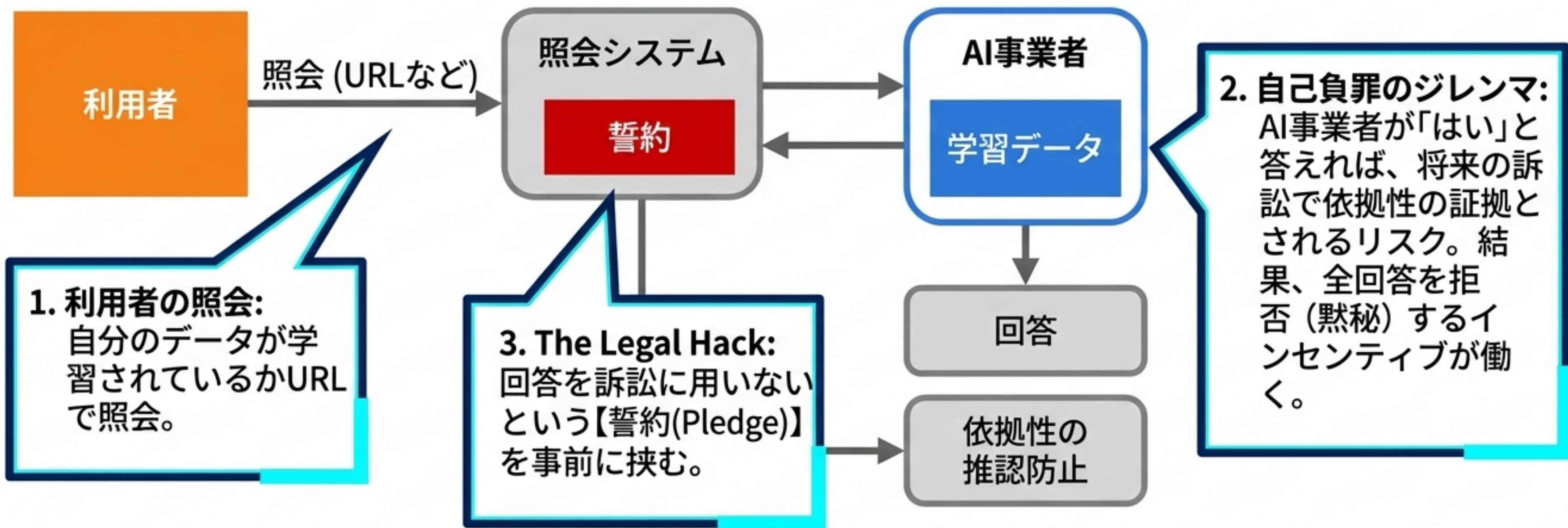


著作権侵害の成立には「類似性」+「依拠性（アクセスして創作したこと）」が必要。しかし、AIの学習データは秘匿されており、権利者側からの立証は不可能に近い。

「画風模倣」とLoRAの脅威



著作権法が保護しない「アイデア・画風」。しかし特異なAI環境下では、特定作家をピンポイントで「代替」する兵器となる。プロンプト制限など、事業者責務の再定義への圧力。



「透明性向上」と「法的安全網（自己負罪の回避）」をバーター取引する、世界に類を見ないリーガル・エンジニアリングの産物。

クリエイター
VS
AI開発者
(知財問題)

FDUA (金融データ活用推進協会)
のパブリックコメント参入

全エンタープライズ
(一般事業会社)

Poisoned Model Effect (汚染モデルの波及効果)

- 他者知財を侵害した「汚染されたAIモデル」を導入することは、金融機関や企業にとって甚大なレピュテーション&コンプライアンスリスクとなる。
- プリンシプル・コードは単なる倫理要請ではなく、AIが社会インフラとして稼働するための「QA (品質保証) 基準」へと変質した。

2026.04.23 同日発生

『悪質事業者に罰則含めた対策検討 (自民党デジタル社会推進本部)』

これまでの前提

イノベーション優先、アジャイルなガバナンス、自主規範（ソフトロー）。

政治的現実の突きつけ

海賊版サイトをスクレイピングする海外の悪質事業者やフリーライダーに対して、「自主規範（コード）」は無力であるというクリエイター側の陳情が政治を動かした。協調路線の根底からの瓦解リスク。

Path A: ソフトローの成熟

- 「誓約」メカニズム等のコードが実務で機能。機密性と透明性の絶妙な均衡を保つ。
- アジャイルなガバナンスの世界的な成功例。イノベーションの維持。

Path B: ハードローへの移行

- 実効性の限界から、EU型 (AI Act) の厳格な規制国家へ舵を切る。
- データガバナンス・コストの高騰。同時に、国内IPホルダーの交渉力が飛躍的に増大するパラダイムシフト。

**第12回検討会は、単なる法解釈
の場ではない。**

**既得権益、国家戦略、政治的強
制力が絡み合う**

**『本格的なルールメイキングの
実装フェーズ』の号砲である。**

「機械学習パラダイス」の終焉。日本発の解
(誓約モデルか、罰則か)が、世紀のテクノロ
ジーに対する世界的法秩序の試金石となる。
企業は今、この地殻変動を見据えた知財・AI
戦略の再構築が急務である。

